

令和4年度(2022年度)江戸川区立清新第一小学校(算数)科第(5)学年		年間指導計画 及び評価標準		
		【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ		
年	月	単元名	評価項目	
1 学 期	4	整数と小数のしくみやま とめよう 立方体や立方体のかさの 表し方を考えよう	【知 技】 【思 判】 【主 体】	整数及び小数について、10倍、100倍、1000倍(1/10、1/100、1/1000)したときや小数点の位置の移動の仕方を理解し、それらの大きさの数を求めることができる。 数の表し方に着目し、整数及び小数について十進数として統合のとらえとともに、十進位取り記数法の仕組みを基に図や式を用いて計算の仕方を考え表現している。
			【知 技】 【思 判】 【主 体】	整数及び小数の十進数としての特徴について統合のとらえたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
	5	変わり方を調べよう(1) かけ算の世界を広げよう わり算の世界を広げよう	【知 技】 【思 判】 【主 体】	体積の単位を知り、計算による立方体及び直方体の体積の求め方について理解するとともに、体積を求めることができる。 体積の単位や立方体を構成する要素に着目し、立方体の体積の求め方を考えとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を統合的にとらえ、説明している。 立方体の体積の単位や体積の求め方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
			【知 技】 【思 判】 【主 体】	簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見いだすことができる。 伴って変わる2つの数量の関係に着目し、表を用いて比例の関係をとらえ、比例の関係を基にした問題解決の仕方を考え、説明している。 簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
	6	形も大きさも同じ図形を 調べよう	【知 技】 【思 判】 【主 体】	乗数が小数の場合の乗法の意味や、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算ができる。 乗法の意味に着目し、乗法の性質を活用して、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。 乗数が小数の場合の乗法の意味をとらえ直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
			【知 技】 【思 判】 【主 体】	除数が小数の場合の除法の意味について理解するとともに、除数が小数の場合の除法の計算ができる。 除法の意味に着目し、除法の性質を活用して、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。 除数が小数の場合の除法の意味をとらえ直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
2 学 期	8・ 9	図形の角を調べよう 整数の性質を調べよう	【知 技】 【思 判】 【主 体】	図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解するとともに、合同な図形を弁別したりかいたりすることができる。 図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、合同な図形の性質を見だし、その性質を推定を立てて説明している。 合同という概念で既習の図形の性質を見直し、対称性に着目して合同な図形をとらえたりしたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
			【知 技】 【思 判】 【主 体】	三角形の内角の和について理解し、それを基に四角形や他の多角形の内角の和を求めることができる。 図形の角に着目し、三角形の内角の和についての性質を見だし、それを基に四角形や他の多角形の内角の和について演繹的に考え、説明している。 三角形の内角の和が180°であることを基に、四角形や他の多角形の性質を考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
	10	分数と小数、整数の関係を 調べよう 分数のたし算、ひき算を 広げよう	【知 技】 【思 判】 【主 体】	偶数、奇数、及び倍数、約数について知り、それらの意味について理解するとともに、偶数と奇数を判別したり倍数と約数を求めたりすることができる。 乗数及び被乗数に着目し、整数と奇数の2つの集合に類別してとらえたり、倍数と約数の集合をとらえたりするとともに、整数の性質を図や式を用いて考え表現している。 整数の性質について、観点を決めて判別したり、倍数と約数の集合をとらえたりした過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
			【知 技】 【思 判】 【主 体】	整数の除法の結果は分数を用いた1つの数で表せることや、分数と小数、整数の関係を理解するとともに、 $a \div b = a/b$ 、 $a/b = a \div b$ とみたり、分数を小数で表したり、小数、整数を分数の形になおしたりすることができる。 分数の表現に着目し、分数を整数の除法の結果としてとらえたり、分数と小数、整数の関係をとらえたりするとともに、それらを分数や式を用いて考え表現している。 整数の除法の結果を分数で表したり、分数と小数、整数の関係を考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
	11	ならした大きさを考えよう 比べ方を考えよう(1)	【知 技】 【思 判】 【主 体】	平均の意味について理解するとともに、測定した結果の平均を求めることができる。 概率的にとらえることに着目して、測定した結果を平均する方法や平均から全量を求める方法を図や式などを用いて考え表現している。 平均の意味や、測定した結果を平均する方法を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
			【知 技】 【思 判】 【主 体】	異種の量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、速さや単位量当たりの大きさを求めたり、比べたりすることができる。 異種の量の割合としてとらえられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考え表現している。
3 学 期	2	面積の求め方を考えよう 割合をグラフに表して調 べよう	【知 技】 【思 判】 【主 体】	平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を理解し、公式を用いて面積を求めることができる。 平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、既習の面積の求め方を基にして、図や式を用いて面積の求め方を考え、表現している。 平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積を、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
			【知 技】 【思 判】 【主 体】	2つの数量の関係に着目し、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができる。 2つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。 2つの数量の関係の比べ方や表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
3	3	立体をくわしく調べよう	【知 技】 【思 判】 【主 体】	円グラフや棒グラフの特徴とそれらの用い方や、データの収集や適切な手法の選択などを理解し、統計的な問題解決をすることができる。 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的にとらえ考察している。 統計的な問題解決の方法について、数学的に表現・処理した過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
			【知 技】 【思 判】 【主 体】	伴って変わる2つの数量について、表や式、図を用いて変化や対応の特徴を調べ、式に表すことができる。 伴って変わる2つの数量の関係に着目し、表や式、図を用いてその関係を説明している。 伴って変わる2つの数量の関係について、表や式、図を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。 正多角形の性質や円周率の意味を理解し、円を使って正多角形をかいたり、円周率を使って直径や円周の長さを求めたりすることができる。 図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、正多角形の性質を見いだしたり、円を使った正多角形のかき方を考えたり、円周率が一定であることをとらえたりして、説明している。 円に関連する正多角形の性質やかき方を考えたり、円周率について帰納的に考えたりした過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。